科目名	授業形態		担当教員名				
眼薬理学			講義		宮崎 茂雄		
時間数(単位数)			授業回数		年次		開講時期
30 時間	(2 単位)	15	口	2	年次	前期

授業の目的・概要

視能訓練士は点眼薬を用いて眼科検査をすることがある。また、業務上、様々な薬物治療を受けている眼疾患、 あるいは全身疾患の患者と接することになる。本科目では臨床現場からの視点で視能訓練士の業務に関係する薬 の知識を整理する。

授業の到達目標

- 視能訓練士として必要な薬理学的知識得を獲得することを目的とする。
- ①点眼薬の投与法、呼吸経路、副作用が説明できる。 ②眼科検査で使用される薬剤の使用目的、使用方法、副作用が説明できる。
- ③代表的な眼科疾患治療薬、全身疾患治療薬が説明できる。

授業計画

- 回内容
- 1 ガイダンス 「くすり」の話
- 2 薬が効くメカニズムと投与法
- 3 眼科局所投与 点眼薬・眼軟膏
- 4 自律神経と瞳孔作動薬
- 5 その他の自律神経薬と抗緑内障薬
- 6 実習 点眼法の実際
- 7 小括(1)国家試験過去問を中心に
- 8 抗菌薬、抗ウイルス薬
- 9 抗炎症薬(副腎皮質ステロイドと非ステロイド薬)、麻酔剤と催眠薬
- 10 その他の眼科治療薬1
- 11 その他の眼科治療薬2
- 12 主な全身疾患治療薬
- 13 薬物中毒・薬物の眼科的副作用
- 14 小括(2) 国家試験過去問を中心に
- 15 特別講義 新薬のできるまで-治験から発売、そして市販後調査

成績の評価法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験	100%	
レポート		
小テスト		
平常点		
その他		
自由記載		

教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
視能学 第2版	丸尾敏夫 他編	文光堂

自由記載

参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名
点眼薬 クリニカルブック (第2版)	庄司 純 編著	金原出版
眼科点眼薬Note 改訂2版	加藤浩晃 著	メディカ出版

自由記載

備考